

## 年間指導計画 2年

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月	2. 読みやすく速く書くための行書			
5月	<b>点画の省略</b> (教科書 P66-69) ◎漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア), (1)ウ]	毛筆 3	1 楷書と行書で書かれた「雲」を比較して、点画が省略されている部分を鉛筆で囲み、点画が省略される理由を話し合う。 2 「学習の窓」を見て、点画が省略される理由と、主な省略の仕方を確かめる。 3 点画の省略を意識して、毛筆で「雲海」を書く。 4 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「雲海」「材料」「電柱」を書く。	<b>【知】</b> 漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく速く書いている。 <b>【思】</b> (毛筆で「雲海」を書くなかで、行書の書き方<点画の省略>を確かめている。) <b>【態】</b> 進んで①行書の書き方(点画の省略)を理解し③、学習課題に沿って②「雲海」を書こうとしている④。
6月 7月	<b>筆順の変化</b> (教科書 P70-73) ◎漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア), (1)ウ]	毛筆 3	1 楷書と行書で書かれた「紅」「花」「視」を比較して、筆順が変化している部分を鉛筆で囲み、筆順が変化する理由を話し合う。 2 「学習の窓」を見て、筆順が変化する理由と、主な変化の仕方を確かめる。 3 筆順の変化を意識して、毛筆で「紅花」を書く。 4 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「紅花」「視線」「若菜」を書く。	<b>【知】</b> 漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書いている。 <b>【思】</b> (毛筆で「紅花」を書くなかで、行書の書き方<筆順の変化>を確かめている。) <b>【態】</b> 進んで①行書の書き方(筆順の変化)を理解し③、学習課題に沿って②「紅花」を書こうとしている④。
	<b>行書に調和する仮名(いろは歌)</b> (教科書 P74-75) ◎行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ア・ウ(ア)]	毛筆 3	1 P44の「楷書に調和する仮名」とP74「行書に調和する仮名」を比較して違いを見つけ、話し合う。 2 「学習の窓」を見て、行書に調和した仮名に表れる点画の特徴を理解する。 3 行書に調和した仮名の特徴を意識して、小筆で「いろは歌」を書く。	<b>【知】</b> 行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 <b>【思】</b> (小筆で「いろは歌」を書くなかで、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。) <b>【態】</b> 進んで①行書に調和した仮名の書き方を理解し③、学習課題に沿って②「いろは歌」を書こうとしている④。
9月	<b>行書と仮名の調和</b> (教科書 P76-79) ◎漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア), (1)ウ]	毛筆 3	1 「豊かな心」の仮名を行書に調和させるために、筆脈が表れているところを鉛筆で囲み、話し合う。 2 「学習の窓」を見て、行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを確かめる。 3 行書と仮名の調和を意識して、毛筆で「豊かな心」「深まる秋」を書く。 4 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「豊かな心」「深まる秋」を書く。	<b>【知】</b> 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 <b>【思】</b> (毛筆で「豊かな心」「深まる秋」を書くなかで、行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。) <b>【態】</b> 進んで①行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し③、学習課題に沿って②「豊かな心」「深まる秋」を書こうとしている④。
10月	<b>【国語・学校生活】</b> <b>行書を活用しよう</b> (教科書 P80-81) ◎漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)・(イ), (1)ウ, B(1)全]	適宜	1 教科書P80-81の作例を見て、日常生活や学校生活の中で、書写で学んだ行書に関する知識・技能を生かせる場面を知る。 2 読みやすく速く書くことができる行書のよさを生かして、行書とそれに調和した仮名で、本の帯やノートなどを書く。	<b>【知】</b> 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 <b>【思】</b> (行書で本の帯やノートなどを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) <b>【態】</b> 進んで①習得した知識・技能を振り返り③、これまでの学習を生かして②本の帯やノートなどを書こうとしている④。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	<p>【国語】</p> <p>壁新聞を作ろう（教科書 P82）</p> <p>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ウ(イ), (1)ウ, B(1)全]</p>	適宜	<p>1 グループで話し合い、壁新聞のテーマを決める。</p> <p>2 壁新聞の内容を考える。</p> <p>3 これまでに学習したこと（漢字の筆使い／楷書に調和する仮名／文字の大きさと配列／行書の特徴／行書に調和する仮名／行書と仮名の調和）に注意して、壁新聞を制作する。</p>	<p>【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p> <p>【思】（壁新聞を作る活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。）</p> <p>【態】進んで①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②壁新聞を作ろうとしている④。</p>
11月	3. 文字を使い分ける			
	<p>【やってみよう】</p> <p>「デザインと文字」を考えよう（教科書 P84-85）</p> <p>◎目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解することができる。[知技(3)ウ(イ)]</p>	硬・毛 1	<p>1 テレビ番組のタイトル文字として、教科書 P84①～④のうちどれがよいかを考え、それぞれから受ける印象や選んだ理由を話し合う。</p> <p>2 教科書 P85 のインタビュー記事を読んで、デザイナーが文字を選ぶときの基準や、文字に対する考え方を理解する。</p> <p>【学習活動の応用例】</p> <p>○自分が選んだ本を持ち寄り、表紙や本文の効果的な文字の使い方について、確かめたことを発表し合う。</p>	<p>【知】目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解している。</p> <p>【思】（テレビ番組のタイトル文字を選ぶ活動のなかで、目的や必要に応じて文字を書くことの意義を確かめている。）</p> <p>【態】進んで①テレビ番組のタイトル文字を選び③、学習課題に沿って②①～④それぞれの印象や文字を選んだ理由を話し合おうとしている④。</p>
	<p>楷書と行書の使い分け（教科書 P86-87）</p> <p>◎目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。[知技(3)ウ(イ), (1)ウ, A(1)オ, (2)イ]</p>	硬・毛 2	<p>1 教科書 P86 の場面では、それぞれ楷書と行書のどちらで書くことが適しているかを考える。</p> <p>2 教科書 P87 の表を見ながら、1で考えた理由をグループで話し合う。</p> <p>3 「学習の窓」を見て、相手や目的に応じて楷書と行書を使い分ける必要があることを理解する。</p> <p>4 楷書か行書かを選んで、教科書 P81 のインタビューメモや P116 の入学願書を書く。</p>	<p>【知】目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。</p> <p>【思】（インタビューメモや入学願書を書く活動のなかで、目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。）</p> <p>【態】進んで①書体を選択して書く必要性を理解し③、学習課題に沿って②適切な書体を選んで書こうとしている④。</p>
12月	<p>【コラム】物語を千年書き継ぐ（源氏物語）（教科書 P88-89）</p> <p>◎書くことで物語を後世に伝えてきた文字の役割を理解し、書写学習への関心を高めることができる。[知技(3)ア, ウ(ア)]</p>	硬・毛 1	<p>1 「源氏物語」について知っていることや調べたいことを発表し合う。</p> <p>2 「源氏物語」が1000年以上の間、書き写したり活字で出版したりして受け継がれてきたことを理解する。</p> <p>3 文字には他にどんな役割があるかをグループで話し合う。</p>	<p>【知】文字の役割について理解している。</p> <p>【思】（「源氏物語」の変遷を確かめるなかで、文字の役割について考えている。）</p> <p>【態】進んで①「源氏物語」の変遷を確かめ③、学習の見通しをもって②文字の役割について話し合おうとしている④。</p>
1月 2月 3月	<p>【国語】季節のしおり2（教科書 P90-91）</p> <p>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア, ウ(ア), (1)ウ]</p>	硬筆 1	<p>1 季節の言葉（枕草子）を音読して味わう。</p> <p>2 これまでに学習したこと（行書の特徴／行書に調和する仮名／行書と仮名の調和／文字の大きさと配列）に注意して、行書とそれに調和する仮名で季節の言葉をなぞる。</p>	<p>【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p> <p>【思】（季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。）</p> <p>【態】積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②季節の言葉をなぞろうとしている④。</p>